

# 恋人の聖地にハート

## 一里野温泉観光協 オブジェを設置

白山市の白山一里野温泉観光協会は、「恋人の聖地」の白山一里野公園を、カップル向けにリニューアルする。春以降、園内にハート形のオブジェと銘板を設置するほか、花壇も新設し、

霧囲気に彩りを添える。開湯40周年と、白山開山1300年の重なる今年、例年以上の観光客が白山麓を訪れることが見込まれる中、いにしえから恋人が集う「聖地」の存在感をアピールする。

はめ込む。台座は白山市の石彫作家舟津秀一郎さん(52)が小松産の石を使って制作する。

白山一里野温泉周辺には奈良時代、男女が見合いをする「縁の谷」という場所があったとされる。この伝承を基に、同温泉地は2010年にNPO法人「地域活性化支援センター」(静岡市)の「恋人の聖地」に認定された。センターからは縦28センチ、横40センチの銘板が贈られたが、設置場所が定まらなかったため、観光客の目に触れることなく、保管され続けていた。

オブジェは高さ25センチ、幅40センチ、奥行き20センチの作品で、高さ40センチの台座に置く。台座の中心に「恋人の聖地」と書かれた真ちゅう製の銘板を

恋人の聖地を示すオブジェが設置される

白山一里野公園

白山市尾添

14日、銘板も披露

春以降の設置を前に、バ

うれしい」と話した。

レンタインデーの14日には、現地でオブジェと銘板のお披露目式が行われる。

隣接する白山一里野温泉スキー場と連携し、恋人に関わるイベントを企画する構想もあり、担当の山崎太一朗副会長は「節目の重なりを追い風に聖地の発信力を

強め、将来的には年間10組程度のカップルが結婚式を挙げるような場所になれば